

(付記) 1994年日本昆虫学会第54回大会プログラムが送られて来てそれを見ていると大会第2日E会場(15:30)で平井剛夫・高橋敬一・白石昭彦・佐藤光一氏による“オオタコゾウムシの関東北部周辺での分布と草地における生息”という講演があることを知った。即ちオオタコゾウムシは北関東にも分布していることを知った(1994. 3月)。

アオマダラタマムシの畸型

(兵庫県甲虫相資料・291)

高橋 寿郎



アオマダラタマムシ

Nipponobuprestis amabitis (Snellen von Vollenhoven, 1864)

♂ 体長23mm

神戸市北区藍那にて1993年5月26日採集

U. Hachitani Photo.

アオマダラタマムシ *Nipponobuprestis amabitis* (Snellen von Vollenhoven, 1864)は兵庫県下では稀種に属するタマムシと考えられる。県の中央部から北での分布が知られていない。

1993年5月26日神戸市北区藍那で道路側の葉上にとまっている1♂を蜂谷幸雄氏の協力を得て採集することが出来た。この標本は右上翅が畸型であるのでここに写真をつけて紹介しておく。短縮といった畸型になるかと思う。

神戸市内での本種の記録は関 公一氏が御影で採集されたものが一番古く(1933)、次いで六甲山の記録があり(1939)。東氏は有馬から記録しておられる(1971)。筆者は市内鳥原貯水池畔の道路上を歩いている1♀を採集したことがある(17・VI・1981)。また藍那付近にはわりと産するといった記録をしたこともある(1979)。

県下での記録は川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。宝塚市切畑, 売布神社〔伊藤, 1992〕, 三田市香下〔三木, 1977〕,

氷上郡神楽, 市島〔山本, 1958〕, 黒井〔東, 1971〕が知られており筆者は相生市三濃山で1頭採集した

(1・V I・1974). 全般的にはかなり少ない種のように思われる。

写真撮影をして頂いた蜂谷幸雄氏に厚く御礼申しあげる。尚筆者採集の神戸市、相生市での2頭は県立人と自然の博物館に保管されている。

記録についての参考文献

- 東 正雄 (1971). 京阪神の動物. (六月社刊). P. 163.
- 伊藤 武 (1992). 宝塚の昆虫Ⅱ. 甲虫目 (I). P. 133
(宝塚市教育委員会)
- 三木 進 (1977). 三田市産のカミキリムシ. きべりはむし 5 (1/2) : 15.
- 仲田元亮 (1978). 能勢の昆虫. I. P. 131(自刊)
- 仲田元亮 (1982). 増補改訂 能勢の昆虫, 甲虫の部, 上巻.
A5. P. 331(自刊)
- 関 公一 (1933). 御影町附近産の甲虫目録 (其の二). 昆虫界 1 (4): 423.
- 高橋寿郎 (1979). 藍那地区の甲虫類. 藍那地区自然環境調査 : 26-33.
(兵庫県自然保護協会鈴蘭台支部刊).
- 辻 啓介 (1970). 兵庫県における甲虫の分布 (第2報). 兵庫生物 6 (2): 159.
- 山本義丸 (1958). 兵庫県水上郡昆虫目録.
水上の自然 第3集, Nature特別号. P. 83.
- 矢野文彦・竹中英雄 (1939). 大阪府及其の附近に於けるタマムシ科の分布.
昆虫界 7 (68): 582.

ムモンオオハナノミ, 西宮市での追加記録

田 中 稔

筆者は先に「ムモンオオハナノミを西宮市で採集」を報告したが(きべりはむし第21巻, 第1号)ムモンオオハナノミ *Macrosiagon nasutum* (Thunberg) の西宮市での追加記録を報告する。